

日本音楽教育メディア学会
(JAPANESE MEDIA SOCIETY FOR MUSICAL EDUCATION)

JMSME News Letter

2015.9 vol.02

発行：平成27年9月30日（水）
日本音楽教育メディア学会事務局
〒284-8567 千葉県佐倉市山王1-9
千葉敬愛短期大学谷中研究室
jmsme2014@yahoo.co.jp
<http://jmsme.jp/>

♪ 学会トピックス ♪

- 3月発行の学会論集「音楽教育メディア研究」第一号が今春創刊されました (ISSN 2189-4566)。ISSN取得によって、継続して論集が国会図書館に置かれることになりました。
- 8月 学会HPが開設されました(担当/副会長・田村幸雄氏)。以後学会の広報、様々な周知・連絡、論集のアップなど、内容の充実を目指していきます。会員の皆様のご協力をお願い致します。
- 去る8月24日、東京・葛飾シンフォニーヒルズにて学会の**第二回総会・研究会**が開催され、小規模ながら内容の濃い会になりました。**第三回研究会は、来年2月に都内の会場で開催予定。**
- 研究会の折、数名の**入会希望**がありました。順次お伝えしていきます。

第2回総会、研究会のご報告

去る8月24日（月）、葛飾シンフォニーヒルズ会議室において、第2回総会及び研究会を開催いたしました。総会は出席者と委任状で既定の人数に達して成立し、平成26年度活動報告、会計報告、平成27年度予算案、事業計画案について決議され、多くの提案がなされました。総会後の研究会では会員外の方々の出席があり、3名の口頭発表が行われました。

1. 「音楽科における学び合いとICTを活用した音程修正の試み」
田村幸雄
2. 「保育者養成のための音楽指導について」 林麻由美
3. 「大瀧秀子の音楽活動と子どもたちへの影響、及び地域文化の活性化について」
谷中優

口頭発表後のフリートークキングでは時間いっぱいまで、活発に意見や情報交換がなされ、充実した研究会となりました。このように総会・研究会が成功裏に終わりましたこと、また、このたび新入会員をお迎えしましたことをご報告いたします。 林麻由美

新入会員メッセージ

この度、学会会員としてお仲間に入れていただくこととなりました帝京科学大学こども学部児童教育学科の飯泉祐美子と申します。私は、これまで「保育者・教員養成のためのピアノ教育研究」「保育者・教員養成のための音楽的身体的表現活動研究」の二つの切り口から、子どもたちの好奇心に応えられる保育者・教員養成のための音楽教育の研究に取り組んでまいりました。特に「表現活動」から「達成感」「成就感」「満足感」を体得する事や、子どもたちが「うきうき・わくわく・ドキドキ」することにこだわって研究を進めています。どうぞ宜しくお願いいたします。 飯泉祐美子

COLUMN 良い授業について考える

私は、数年前小学校の教師から現役を退き、今年から中学校で非常勤講師として理科や数学を教えています。小学校から中学校へと教える場が変わったことで良い授業について考える機会を得ることができました。良い授業には、教える側の教師から見て良い授業と、学ぶ側の子ども達から見て良い授業という二つの側面があると思います。

教師側から見て良い授業とは、子ども達の実態から単元全体を見通して、どの時間でどのような力を身に付けさせるかを具体的な内容を持って計画され、板書計画やICTを含めた教材・教具の工夫がなされた授業といえるでしょう。（次号に続く） 田村幸雄

特集1 目で聴く



(金沢・犀川の花火)



(金沢・御所町の秋祭り)

・テーマはドイツの即興演奏グループ「イクステンポレ」のチラシから引用。

写真上は犀川の土手やその横にある広場に家族ずれなど大勢の見物客でにぎわう、金沢の夏の風物詩の一つである。下は秋祭りの風景。地域の獅子舞保存会と大学が連携を取り、フィールド演習の一環として学生が毎年その祭りに参加している。

二枚の写真から、様々な音が聞こえる音の風景がここにある。風景は音の強力な「メディア」として機能する。 谷中優

音楽教育談義 第1回「子どもの音の世界」

ある日の小学校での出来事。時は昼休み。数人の子どもたち(1年生?)が、何やら遊んでいるのに出くわした。それがかなり騒々しい。何をしていたかということ、3階の階段の踊り場から下に向かって、大きい声で「キー」とか「アー」とか「ウー」とか叫んでいたのである。

その内、子どもたちは一斉に思い思いの高さで叫びだした。その声も短いものではなく「キーーーー」のように長いのである。一息目いっぱい続く長さ。

それらの声は反響して、すごい事になっているのだが、子どもたちは一向に意に介さない。一体子どもたちは何をしていたのであろうか。

実は子どもたちは、自分や自分たちの声の「一つの響き」と「重なった響き」を認識しつつ、音を発するという「演奏行為を楽しむ」と同時に、時間空間に生成された「音の響きそのものを享受」していたのである。子どもの音の感受について事例である。

(次回は小林田鶴子氏)

谷中優

★ 論文募集

学会論集「音楽教育メディア研究」に掲載する論文を募集いたします。

申し込み期限 2015年10月末日

・申し込みを頂き次第詳細を送信いたします。

提出期限 2016年1月末日

詳細は、事務局までご連絡ください。

j m s me2014@yahoo. co. jp

会費について

年会費 7,000円 入会申し込み後下記のどちらか宛にお納めください。

《振込先①》 ゆうちょ銀行 10510-91267401

ニホンオンガクキョウイクメディアガクカイ

《振込先②》 みずほ銀行 亀有支店(店番178)

(普)1293675 日本音楽教育メディア学会会長 谷中優

※入会申込書未提出の方、申込書をお持ちでない方は、事務処理の関係上至急事務局あてにメールにてご連絡ください。申込書を送付いたします。またお持ちの方は、郵送もしくは添付ファイルでお送りください。

事務局

第三回研究会のお知らせ

2016年2月28日(日)

葛飾シンフォニーヒルズ

(第2回研究会と同じ場所)

※場所の変更の可能性がります。

● 事務局だより ～3名になりました～

このたび事務局に加わらせていただきました。初めてのことばかりですが、これを機に勉強させていただきたいと思っていますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

林麻由美

8月の研究会には興味を持ってくださった非会員の方が多く参加してくださいました。様々な視点からの興味深い論議を交わし、豊かな研究方法、そして成果につなげていける手ごたえを感じたのは私だけでしょうか。まだまだ多くの可能性を秘めた本学会に皆さまからのご協力をいただけますよう今後ともよろしくお願ひ申し上げます。

鎌田千佳

お二人のお力添えを頂いて、より良い運営をしていきたいと思ひます。よろしくお願ひいたします。 鈴木佑未子

★ NEWS LETTER の発行は、年3回、次回は2016年1月になります。